

中学地理プリント（過去問類似）

ヨーロッパ

名前

得点

/8

問1 地中海沿岸の国々で広く栽培されている農産物のうち、夏の乾燥に強い樹木作物であり、その果実が現地料理に欠かせない油の主な原料となるものはどれですか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. オリーブ 2. 小麦 3. トマト 4. オレンジ

問2 世界地図において、大西洋からヨーロッパの西側へと向かって流れる海流について説明したものとして、正しい組み合わせはどれですか。（2025年 沖縄公立入試 類似）

1. 海流の名称は北大西洋海流であり、低緯度から温かい水を運ぶ暖流である。 2. 海流の名称は黒潮（日本海流）であり、太平洋を北上する暖流である。 3. 海流の名称はリマン海流であり、大陸沿岸を南下する寒流である。 4. 海流の名称は親潮（千島海流）であり、北極海から流れてくる寒流である。

問3 ヨーロッパ連合（EU）の加盟国間で共通通貨である「ユーロ」が導入されたことによって得られる利点について、適切に述べたものはどれですか。（2021年 鳥取公立入試 類似）

1. 国境を越えて移動や買い物をする際、両替の手間や手数料を省くことができ、経済活動が効率化される。 2. EU加盟国のすべてがこの通貨を導入することで、各国の独自の税制や経済政策が完全に禁止される。 3. 域内における農作物の価格をすべて統一することができ、農家の収入が完全に保証される。 4. ヨーロッパにあるすべての国で利用可能であるため、アジアやアメリカとの貿易において為替の影響を全く受けなくなる。

問4 ヨーロッパ北西部に位置するロンドンと北緯50度付近にあり、北緯43度付近の札幌よりも高緯度ですが、1月の平均気温を比較するとロンドンの方が約5度以上高くなっています。このように高緯度のヨーロッパ北西部が冬でも比較的温暖である理由として、影響を与えている暖流と風の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 佐賀公立入試 類似）

1. 北大西洋海流と偏西風 2. 北大西洋海流と季節風 3. 黒潮（日本海流）と偏西風 4. リマン海流と季節風

問5 ロシアの食文化を支える農業の仕組みについて、その特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2021年 大分県公立入試 類似）

1. 小麦やイモ類といった主食となる穀物の生産に加え、食肉や乳製品を得るための家畜の飼育を並行して行う。 2. 夏の乾燥に強いブドウやオリーブの栽培を中心に、冬の雨を利用して小麦を栽培する。 3. 広大な土地で牛や羊を放牧し、生乳やバターなどの乳製品の加工・販売に特化して経営を行う。 4. 熱帯の広い農園で、コーヒーやカカオ、天然ゴムなど、輸出を目的とした特定の作物のみを栽培する。

問6 ナイジェリア、ロシア、インドネシア、アメリカの主要なエネルギー産出国4か国における2013年の発電統計について述べます。ロシアは総発電量約1兆591億kWhのうち、火力発電による発電量が約7035億kWhとなっています。このロシアの「全発電量に占める火力発電の割合」を他の3か国と比較したとき、どのような特徴がありますか。最も適切なものを選びなさい。

（2018年 埼玉県公立入試 類似）

1. 4か国の中で、火力発電の占める割合が最も低い 2. 4か国の中で、火力発電の占める割合が最も高い 3. 4か国の中で、唯一火力発電による発電量が1兆kWhを超えている 4. 4か国の中で、火力発電と水力発電の割合がほぼ等しい

問7 ヨーロッパの主要国であるドイツの農業統計において、小麦やじゃがいもの生産量が多く、米の生産がほとんど見られない理由と、その統計的な特徴の説明として正しいものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. 冷涼な気候が稲作には適さない一方で、寒さに強い小麦やじゃがいもの栽培に適しており、統計上もじゃがいもの生産量がとうもろこしを大きく上回る。 2. 地中海性気候を利用したオリーブやぶどうの栽培に特化しており、穀物の中では小麦よりも米の輸入額が統計上の大半を占める。 3. 熱帯の広大な農地でとうもろこしの大規模な機械化栽培が行われており、じゃがいもよりもとうもろこしの生産量が圧倒的に多い。 4. アジアから伝わった稲作技術により、温暖な南部を中心に米の生産量が小麦を上回るようになり、じゃがいもは飼料用としての生産に限られる。

問8 ヨーロッパの航空機産業の統計において、ドイツに次いで輸出額が多く、各国で製造された部品を集めて最終的な組み立てを行う拠点（トゥールーズなど）がある国はどこですか。（2015年 鹿児島県公立入試 類似）

1. フランス 2. イタリア 3. ノルウェー 4. ギリシャ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 オリーブ	地中海性気候は「夏に雨が少なく乾燥し、冬に雨が降る」という特徴があります。そのため、夏の乾燥に耐えられる樹木作物の栽培が盛んです。選択肢の中で「樹木作物」であり、かつ「油の原料」として重要な役割を果たすのは小麦やトマトは樹木ではなく、オレンジは果実として消費されることが主で、油の原料としての重要度はオリーブと比較になりません。
問2	答え 1 海流の名称は北大西洋海流であり、低緯度から温かい水を運ぶ暖流である。	ヨーロッパ州の西側の海域を流れるのは北大西洋海流です。これは赤道に近い低緯度から高緯度へと温かい海水を運ぶ性質を持っているため、「暖流」に分類されます。この海流の存在が、ヨーロッパの農業や生活環境に大きな恩恵を与えています。
問3	答え 1 国境を越えて移動や買い物をする際、両替の手間や手数料を省くことができ、経済活動が効率化される。	共通通貨の導入は、国を越えた移動が盛んなヨーロッパにおいて、両替に伴う時間的なロスや手数料というコストを削減する効果があります。これにより、企業間の取引や観光客の消費が促進され、域内全体の経済活性化につながります。ただし、EU加盟国の中でもデンマークなどのようにユーロを導入していない国も存在します。
問4	答え 1 北大西洋海流と偏西風	ヨーロッパ北西部が、札幌などの東アジアの都市よりも高緯度でありながら冬に暖かいのは、大西洋を北上してくる暖流である北大西洋海流の影響を強く受けているためです。この暖流によって温められた海上の空気が、一年中西から吹き続ける偏西風によって陸地側へと運ばれることで、緯度のわりに温暖な気候がもたらされます。
問5	答え 1 小麦やイモ類といった主食となる穀物の生産に加え、食肉や乳製品を得るための家畜の飼育を並行して行う。	ロシアの農業は、家畜（肉・酪農）と穀物（小麦・イモ類）の両方を結びつける混合農業が一般的です。これにより、厳しい自然環境の中でも主食とタンパク質源を効率よく確保し、多様な食文化を支えています。
問6	答え 1 4か国の中で、火力発電の占める割合が最も低い	ロシアは世界有数の原油・天然ガスの産出国ですが、国内の発電においては、広大な領土を流れる河川の豊かな水量を利用した水力発電や、原子力発電も重要な役割を担っています。そのため、統計上、石炭や天然ガスへの依存が非常に強いナイジェリアやインドネシア、あるいはエネルギー消費量が膨大なアメリカと比較すると、全発電量に占める火力発電の割合は相対的に低くなるという特徴があります。
問7	答え 1 冷涼な気候が稲作には適さない一方で、寒さに強い小麦やじゃがいもの栽培に適しており、統計上もじゃがいもの生産量がとうもろこしを大きく上回る。	ドイツは高緯度に位置し、全体的に冷涼な気候であるため、古くから寒さに強い小麦やじゃがいもが栽培されてきました。実際の統計においても、とうもろこしの生産量（約455万トン）に対してじゃがいもの生産量（約1172万トン）が2倍以上となっており、米の生産がゼロであることと併せて、ドイツの食文化や気候条件を強く反映した数値となっています。
問8	答え 1 フランス	フランスはヨーロッパを代表する航空機メーカーであるエアバス社の本部や最終組み立て工場が置かれており、航空機産業の中心的な役割を担っています。ドイツ、イギリス、スペインなどの周辺国から専用の輸送機によって部品が運ばれ、フランスで一つの製品として完成されます。